

## 第3章 農業の将来像

### 第1節 基本理念

# みんなで創る持続可能な守山の農業

～未来へつなぐ多様で豊かな「食と農」～

今後も、本市の農業が持続的に発展し、安全・安心な農産物を需要に見合った形で安定的かつ持続的に生産・供給するために、必要な費用を考慮した価格形成の実現に努めるとともに、担い手の育成や担い手への農地の集積・集約化、意欲のある新規就農者の確保と定着化に努めます。

加えて、地域特性を活かした農産物のブランド力の向上を図るとともに、直売所等への出荷拡大や学校給食への守山産農産物の導入等により、地産地消を推進します。

さらに、近年の気候変動へ対応するための品種や栽培技術の導入を促進するとともに、環境負荷低減の取組を推進します。

また、本市の農業を支える農村集落については、農業者の減少等により状況が大きく変化してきていることから、今後の運営のあり方を含めた地域の将来像について検討を進めます。

これらの取組により、さまざまな主体が携わり、支え合いながら、本市の特徴である多様で豊かな農産物と食の恵みを未来へとつないでいくことを目指し、『みんなで創る持続可能な守山の農業 ～未来へつなぐ多様で豊かな「食と農」～』を基本理念として定め、一体的、総合的な施策の展開を図ります。

### 第2節 基本方針（農業振興の柱）

本市農業の課題解決に向け取り組むとともに、本市農業の目指すべき姿を達成するため、次の5つを農業振興の柱とし、農業施策を展開していきます。

**基本方針1** < 人 > 多様な担い手の育成・確保および農業を通じた交流

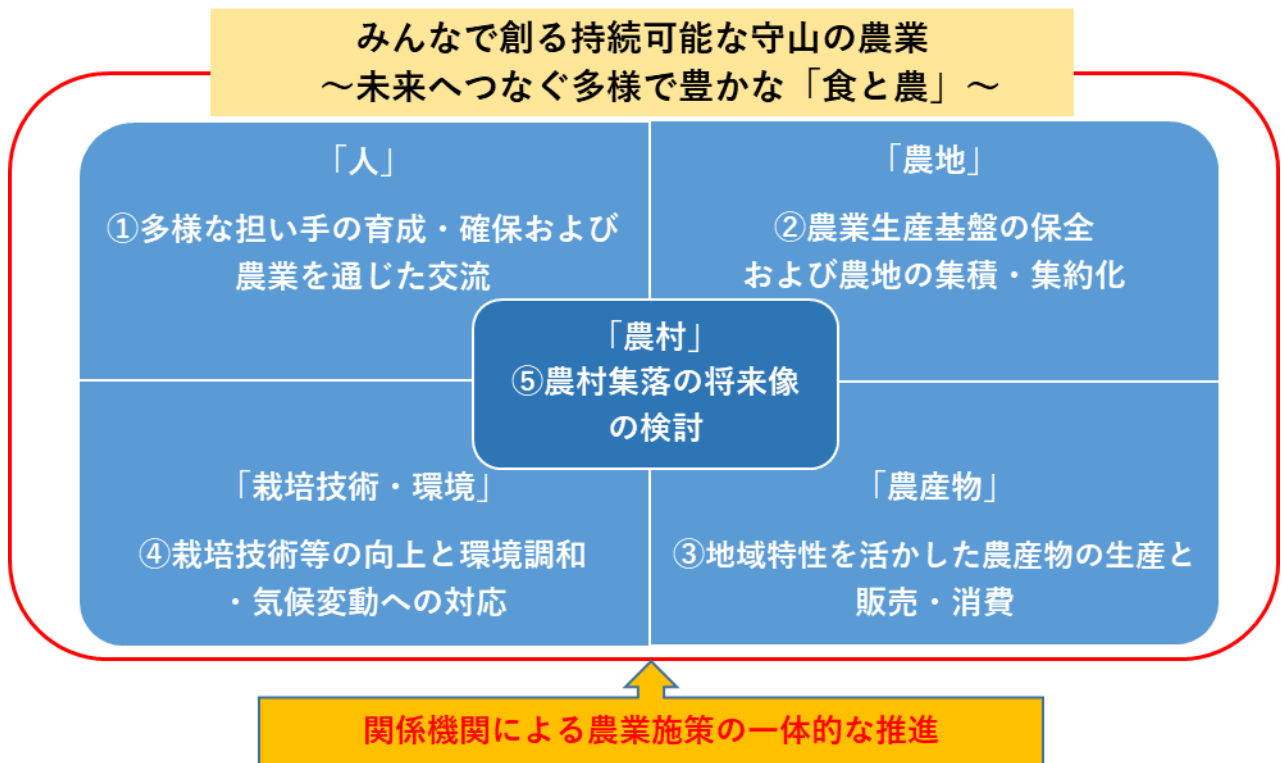
**基本方針2** < 農地 > 農業生産基盤の保全および農地の集積・集約化

**基本方針3** < 農産物 > 地域特性を活かした農産物の生産と販売・消費

**基本方針4** < 栽培技術・環境 > 栽培技術等の向上と環境調和・気候変動への対応

**基本方針5** < 農村 > 農村集落の将来像の検討

<農業の将来像>



### 第3節 施策の体系

基本方針（農業振興の5つの柱）

施 策

人

①多様な担い手の育成・確保および  
農業を通じた交流

○担い手の育成（農業経営の安定化）  
○労働力（人材）の確保、後継者不足対策  
○多様な人の農業への参加や農業を通じた  
交流促進

農地

②農業生産基盤の保全および  
農地の集積・集約化

○優良農地の保全と遊休農地の解消  
○担い手への農地の集積・集約化と大規模  
区画化  
○農業生産基盤の保全・長寿命化対策

農産物

③地域特性を活かした  
農産物の生産と販売・消費

○産地（ブランド）の形成と発展  
○地産地消の推進・6次産業化の推進

栽培技術・環境

④栽培技術等の向上と  
環境調和・気候変動への対応

○各作物の栽培技術等の向上  
○環境負荷低減の取組  
○気候変動等への対応

農村

⑤農村集落の将来像の検討

○農業組合のあり方検討  
○地域計画のブラッシュアップに向けた  
定期的な見直し